令和５年度

札幌市藤野野外スポーツ交流施設

管理運営業務計画書

札幌市藤野野外スポーツ交流施設指定管理者
株式会社札幌リゾート開発公社

目 次

1　総括管理運営業務 2
（１）管理運営の基本方針 2
（２）指定管理者の組織図 2
（３）職員の配置計画 3
（４）職員の採用の計画 3
（５）研修の実施計画 3
（６）運営協議会の実施計画 5
（７）セルフモニタリングの実施計画 6
2　施設・設備の維持管理に関する業務 6
（１）防災の研修計画 6
（２）事故対応の研修計画 6
（３）施設・設備の日常点検 6
3　施設の利用に関する業務 7
（１）個人利用の利用計画 7
（２）専用利用の利用計画 7
（３）全体の利用（開放）計画 7
4　自主事業の実施計画 7
（１）事業計画数 7
（２）主な事業 7

1　総括管理運営業務

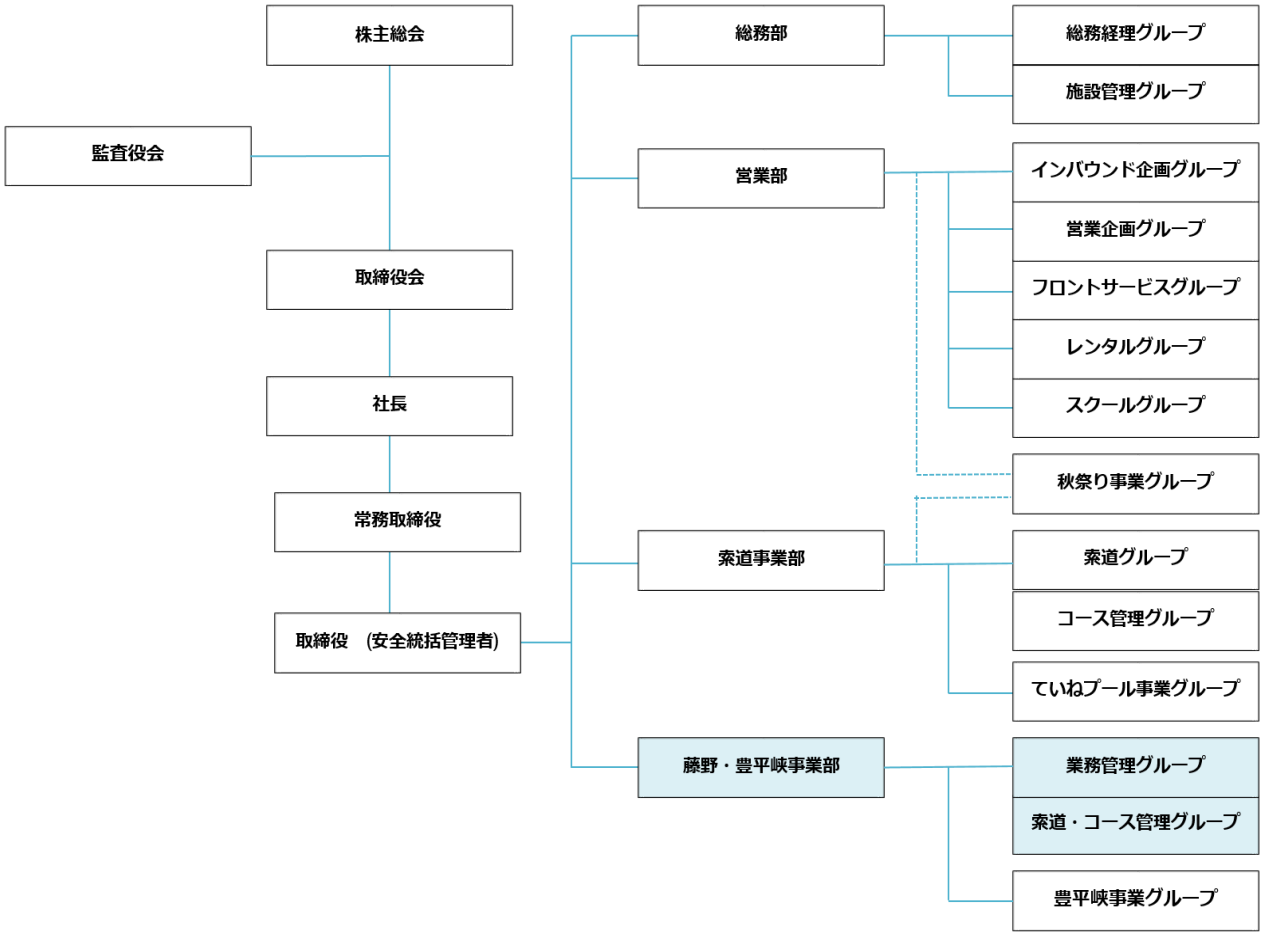
（１）管理運営の基本方針

札幌市スポーツ推進計画に則し、施設の設置目的である「市民の心身の健全なる発達及び体育の普及振興」を図るため、利用者及び地域住民のニーズに即したプログラムサービスの提供や透明性の高い管理運営等を基本方針とする。

併せて、信頼性、安全性、快適性の向上を図るとともに、３つの重点方策「平等利用と法令の遵守」、「行政課題への対応」、「地球環境への配慮」を推進する。

（２）指定管理者の組織図

株式会社札幌リゾート開発公社



（３）職員の配置計画

【施設運営スタッフ数】

期　間	常勤				臨時職員	合　計
	統括管理責任者（部長職）	施設責任者（課長職）	正社員	契約社員	期間雇用社員	
夏　季（4～11月）	1人	1人	4人	4人	3人	13人
冬　季（12～3月）	1人	1人	4人	4人	21人	31人

【索道事業スタッフ数】

期　間	常勤		臨時職員			合　計
	索道技術管理者	索道技術管理員	リフト係員	ゲレンデ整備	パトロール	
夏　季（4～11月）	1人	2人	―	―	―	3人
冬　季（12～3月）	1人	8人	42人	3人	8人	62人

（４）職員の採用の計画

社員・契約社員については、雇用期間の任期満了等による退職に伴う欠員補充のため、次年度に向けた計画的な採用を行う。

また、有期雇用の契約社員や期間雇用社員の退職などにより欠員が生じた場合には、ハローワークなどを通じて募集を行い、面接による選考を経て、速やかに人員を採用し、安定した管理運営体制を維持する。

なお、非正規社員から正規社員への登用は、業績評価を基に、優秀な人材を実務経験も併せて考慮し実施する。

（５）研修の実施計画

職位ごとに必要となるスキルを身につけ、法改正や社会環境の変化に即応するため、業務別・職種別の研修や全スタッフを対象とした全体研修を実施する。

【全体研修】

対　象	研修項目	概要
全スタッフ	接客･接遇	接客･接遇の技術･マナー向上
	救命救急（応急手当）	救助方法･CPR･AED操作手順･応急手当方法の習得
	苦情･要望対応	適切な対応の習得
	コンプライアンス	法令遵守の理解
	個人情報管理	個人情報管理の実務
	災害時参集訓練	災害時を想定した施設への集合
	自衛消防訓練	消火･通報･避難訓練
該当者	経理･現金取扱い	財務会計･経理規程に基づく適正処理
	応急手当普及員	応急手当に関する指導
	索道技術管理者研修会･索道技術基礎講習会	索道の維持管理に関する知識と技能の向上
	索道技術力向上研修会	北海道索道協会主催の技術研修

【職位別研修】

対　象	研修項目	概要
統括管理責任者（部長職）	労働関係法令	ワーク･ライフ･バランス推進等
	情報公開	情報公開条例等の正しい解釈と対応
	マネジメント	経営戦略とマーケティング
	社会福祉活動	社会福祉への貢献
施設責任者（統括マネージャー職）	不当要求対応	不当要求への対応方法
	リーダー･コーチング	役割の理解とスキルアップ
	ハラスメント防止	セクハラやパワハラの防止･対応策

【OJT研修】

対　　象	研修項目	目的とポイント
スタッフ 委託事業者 指導員 （該当者）	平等利用について	法令遵守と不当な差別的行為を発生させない取組み
	リフト乗客の救助訓練	事故等で途中停止したリフトから乗客を降ろす救助訓練
	リフト予備原動機の運転訓練	停電時におけるリフト運行不能時の速やかな予備原動機への切り替え及び運転訓練(第1ロマンスリフト限定)
	リフトや索道機器の安全点検及び操作方法	索道設備や機器、作業器具等の点検及び正しい操作方法
	負傷者搬送訓練	コース上の転倒･衝突事故等による負傷者を搬送する訓練
	危機管理 （災害発生時の対応）	防火･防災訓練 大雪･暴風雪･火災･地震等への対応 停電時の対応 不審者や危険人物来館時の対応
	事故対応（索道救助訓練含む）	類似施設で発生した事故事例の検証と対処 施設賠償責任保険内容の正しい理解
	事故対応訓練	エリア内おけるあらゆる事故を想定し職員が危機管理マニュアルに沿って対応

【専門研修】

研修項目	実施時期
夏季作業研修会	4月
安全運転管理者等法定講習会	6月
索道協会技術力向上研修会	6月･10月
SAH教育本部会議夏季研修会	7月
索道技術管理者研修会	9月
NCテクニカルセミナー	夏季
SBB認定整備技術者講習会	9月
SAJ公認スキー学校代表者研修会	10月
SAJ教育本部技術員研修会	11月
SAH登録スキー学校教師研修会	12月
SAJ公認スキー学校主任教師研修会	12月
SAJ公認スキーパトロール研修	2月

（６）運営協議会の実施計画

施設の適切な管理運営の推進及び管理運営に関わる業務水準・市民サービスの維持向上を図るうえで、必要となる事項を札幌市と協議、報告するために年４回実施する。

回	日　程	出席者	議　　題
第1回	6月中旬	札幌市スポーツ局 札幌リゾート開発公社 職員	令和4年度3月、令和5年度4月～5月実績報告他
第2回	8月下旬		令和5年度6～7月実績報告他
第3回	11月下旬		令和5年度8～10月実績報告他
第4回	3月中旬		令和5年度11～2月実績報告他

（７）収支の計画

収支計画書　別紙１のとおり。

①様式４-2　令和５年度　管理に係る収支計画書

②様式４-3　令和５年度　収入計画書の積算根拠（収入）

③様式４-4　令和５年度　収支計画書の積算根拠（支出・人件費）

④様式４-5　令和５年度　収支計算書の積算根拠（支出・物件費）

（８）セルフモニタリングの実施計画

お客様の声を把握し、ニーズに応じたサービスや業務改善に積極的に取り組むため、「お客様アンケート」を実施する。

①　期間　冬季調査　令和６年１月～2 月の間（７日間）

②件数　300 件

③対象　個人・専用利用者（自主事業参加者含む）

④方法　選択肢形式の設問と自由記述式の質問紙により調査する。
利用時間帯を午前・午後に設定し、利用形態に偏りがないよう考慮する。

⑤内容　利用形態、利用頻度、施設の設備・サービスの満足度（５項目群 14 項目）、施設に対する総合満足度、基本属性、意見・要望（自由記載）を調査し、結果については今後の運営に反映させる。

2　施設・設備の維持管理に関する業務

（１）防災の研修計画

災害発生時に、お客様の安全確保と被害の拡大防止に迅速な対応ができるよう、関係機関と連携しながら定期的に研修・訓練を行い、職員の防災意識の向上を図る。

（２）事故対応の研修計画

事故や傷病発生の未然防止に努め、近隣の医療機関や消防などの関係機関との連携を図るとともに、事故等の発生時には、お客様の人命救助と安全確保を最優先に考え適切に対応する。

【防災･事故対応研修実施計画】

項　　目	内　　容
自衛消防訓練･避難訓練 ① （4 月～9 月）	･通報、連絡、避難経路 役割、放送設備、誘導方法の確認 ･機器操作 消火器、避難器具使用方法の確認 ･避難訓練 火災の他、自然災害等も想定し実施
自衛消防訓練･避難訓練 ② （10 月～3 月）	
普通救命講習会	･有資格者による講習 心肺蘇生法、AED の使用、気道異物の除去法、 出血時の止血法の実施
事故対応訓練	･エリア内おけるあらゆる事故を想定し職員が危機管理マニュアルに沿って対応

（３）施設・設備の日常点検

点検表を用いて視覚、触覚などによる巡回点検を定期的に実施するとともに、ボイラーや空調などの機械設備については委託事業者による点検・報告を実施する。

3　施設の利用に関する業務

（１）個人利用の利用計画

設　備　名	大　人	小　人	フィールド	無料幼児	合　計
夏季（フィールド）			2,250		2,250
冬季（スキー場）	505,000	253,000		19,000	777,000
合　　計	505,000	253,000	2,250	19,000	779,250

（２）専用利用の利用計画

設　備　名	件　数	合　計
冬季（リュージュ）	30 件	610 人
合　　計	30 件	610 人

（３）全体の利用（開放）計画

施　設　名	個人利用	専用利用	合　　計
夏季（フィールド）	2,250		2,250
冬季（スキー場）	777,000		777,000
冬季（リュージュ）		610 人	610 人
合　　計	779,250	610 人	779,860

4　自主事業の実施計画

（１）事業計画数

一般事業	イベント	合　計
22 件 3,500 人	4 件 1,500 人	26 件 5,000 人

（２）主な事業

一般事業内訳　22 件

①プライベートレッスン②キッズプライベートレッスン③グループレッスン④週末一般⑤週末ジュニア⑥スキー3 日間集中レッスン⑦スキー学習対策レッスン⑧幼児スキーレッスン⑨レディーススキーレッスン⑩スノボ体験レッスン⑪アルペン⑫モーグル⑬デモ⑭スーパーデモ⑮リュージュ体験会⑯スケルトン体験会⑰レンタル事業⑱MTB コース⑲ストライダーコース⑳軽登山・散策コース㉑ジュニアトレーニング㉒キャンプ事業

イベント内訳　4 件（予定）

冬期フッズ感謝祭等 3 件、夏期キャンプイベント 1 件

管理に係る収支計画書(様式4-2　令和5年度)

法人・団体名　㈱札幌リゾート開発公社

単位：千円

	科目	指定管理業務			自主事業			計
		管理費	事業費	小計	管理費	事業費	小計	
収入	指定管理費			131,200				131,200
	利用料金収入			88,220				88,220
	その他収入			—		—	64,272	64,272
	収入計			219,420	—	—	64,272	283,692
支出	人件費	17,379	98,676	116,055	5,104	28,014	33,118	149,173
	仕入高			—		720	720	720
	報酬			—			—	—
	教育研修費		81	81		403	403	484
	報償費			—		330	330	330
	会議費			—			—	—
	交際費			—		11	11	11
	旅費交通費		468	468		660	660	1,128
	通信運搬費		474	474		274	274	748
	減価償却費		762	762		10,525	10,525	11,287
	消耗什器備品費		1,649	1,649		9,616	9,616	11,265
	消耗品費		3,751	3,751		1,236	1,236	4,987
	修繕費		3,742	3,742		3,342	3,342	7,084
	工事請負費			—			—	—
	印刷製本費		350	350		308	308	658
	燃料費		2,663	2,663			—	2,663
	光熱水費		18,125	18,125		289	289	18,414
	賃借料		928	928		705	705	1,633
	保険料		1,337	1,337		667	667	2,004
	諸謝金			—			—	—
	広告宣伝費		1,400	1,400		1,165	1,165	2,565
	租税公課		153	153		365	365	518
	負担金		22	22		246	246	268
	支払寄付金			—			—	—
	委託費		62,103	62,103		2,283	2,283	64,386
	支払給付金			—			—	—
	支払利息			—			—	—
	雑費		997	997		2,037	2,037	3,034
	本部経費	8,539		8,539	2,508		2,508	11,047
	その他(消費税納付)		11,152	11,152		1,148	1,148	12,300
	支出計	25,918	208,833	234,751	7,612	64,344	71,956	306,707
利益等	収支			-15,331			-7,684	-23,015
	利益還元						—	—
	法人税等							
	当期純利益							-23,015

※　それぞれの項欄について、必要に応じて小区分を設定しても構いません。
※　行が足りない場合は、適宜追加してください。
※　税込みで記載してください(以下、様式4-3から4-5まで同じ)。
※　「利益還元」の項には、利益のうち還元額を記載してください。
※　様式4-3から4-5までにより積算内容を記載してください。

収支計画書の積算根拠（収入）（様式4-3　令和5年度）

1.利用料金収入

単位：千円

施設名	利用区分	収入額 （見込み）	算出根拠等 （料金設定、利用回数設定についての考え方等）
藤野野外スポーツ交流施設	個人利用	88,220	令和4年度見込の3%UPを見込む
	専用利用		
	計	88,220	
	計	0	
	計	0	
	計	0	
	計	0	
	計	0	
	計	0	
	計	0	
	計	0	
合計		88,220	

※　行が足りない場合は、適宜追加してください。
※　税込で記載してください。

2.その他の収入

単位:千円

項目	事業名	収入額 (見込み)	摘要
指定管理業務	指定管理費	131,200	
	指定管理業務収入計	131,200	
自主事業	自主事業(冬事業)	51,689	レンタル、スクール、飲食、物販、その他
	自主事業(夏事業)	583	遊具レンタル、キャンプ事業、自動販売機
	補助金	12,000	オートゲートシステム補助金
	自主事業収入計	64,272	
合計		195,472	

※　行が足りない場合は、適宜追加してください。
※　自主事業において札幌市その他の機関や団体からの補助金の交付を受ける予定がある場合には、「摘要」欄に補助金の交付元名、補助事業名、補助率等を簡潔に記載してください。

収支計算書の積算根拠（支出・物件費）（様式4－5　令和5年度）

単位：千円

1　指定管理業務

科目	支出額（見込み）		摘要
	管理費	事業費	
仕入高	－	－	
報酬	－	－	
教育研修費	－	81	・研修会参加等
報償費	－	－	
会議費	－	－	
交際費	－	－	
旅費交通費	－	468	・業務交通費等
通信運搬費	－	474	・事務所電話代等
減価償却費	－	762	・ホームページ等
消耗什器備品費	－	1,649	・傷害者用ストレチャー、給油ポンプ他
消耗品費	－	3,751	・従業員用冬用制服、索道部品・事務用品等
修繕費	－	3,742	・リフト点検整備、建物施設の修理等
工事請負費	－	－	
印刷製本費	－	350	・チラシ印刷等
燃料費	－	2,663	・業務用車両燃料等
光熱水費	－	18,125	・電気、暖房、上下水道料等
賃借料	－	928	・来場者送迎用車両、乗用草刈り機リース料、コピー機リース料等
保険料	－	1,337	・施設賠償保険、車両保険等
諸謝金	－	－	
広告宣伝費	－	1,400	・ホームページ改修、チラシ等広告費用
租税公課	－	153	・車検印紙代等
負担金	－	22	・索道協会実情交換会等
支払寄付金	－	－	
委託費	－	62,103	・施設維持管理、警備、リュージュ維持管理、送迎バス業務委託、 ・除排雪業務等
支払給付金	－	－	
支払利息	－	－	
雑費	－	997	・集配業務手数料等
本部経費	8,539	－	・藤野事業部門配賦率（29.0%）適用
その他（消費税納付）	－	11,152	
計	8,539	110,157	118,696

※　行が足りない場合は、適宜追加してください。

※　「摘要」欄には支出見込額の算出根拠を記載してください。

単位：千円

2　自主事業

科目	支出額（見込み）		摘要
	管理費	事業費	
仕入高	－	720	・売店商品仕入
報酬	－	－	
教育研修費	－	403	・WEB販売・多言語決済システム教育費、研修会参加、
報償費	－	330	・イベント運営費
会議費	－	－	
交際費	－	11	挨拶回り
旅費交通費	－	660	・出張、業務交通費等
通信運搬費	－	274	・講習会案内等送付等
減価償却費	－	10,525	・オートゲートシステム設置、リフト券WEB販売・他言語決済システム、スクール・レンタル予約システム等
消耗什器備品費	－	9,616	・レンタススキー、ボード、レンタルコーナー用ラック購入等
消耗品費	－	1,236	・スキー講習会消耗品、ICソフトカード等
修繕費	－	3,342	・レンタル物品等の修繕、WEB販売・多言語決済システム
工事請負費	－	－	
印刷製本費	－	308	・講習会要項等印刷
燃料費	－	－	
光熱水費	－	289	・事業費～レストラン上下水道等
賃借料	－	705	・施設使用料、AEDリース料
保険料	－	667	・講習会傷害保険等
諸謝金	－	－	
広告宣伝費	－	1,165	・講習会広告費用、スクール用WEBページ改修
租税公課	－	365	・償却資産税等
負担金	－	246	・スキー学校登録料等
支払寄付金	－	－	
委託費	－	2,283	・スキー講習会に係るバス費用、スキー大会計測等
支払給付金	－	－	
支払利息	－	－	
雑費	－	2,037	・クレジット・電子マネー利用手数料、ウエアクリーニング、非常勤イントラ身体機能検査他
本部経費	2,508	－	・藤野事業部門配賦率（29.0％）適用
その他（消費税納付）	－	1,148	
計	2,508	36,330	38,838

※　行が足りない場合は、適宜追加してください。
※　「摘要」欄には支出見込額の算出根拠を記載してください。